

平成30年度旭川市立六合中学校通信

11月号

久遠の塔

発行：旭川市立六合中学校
住所：旭川市末広3条2丁目
電話：0166-51-5388
HP：http://www.asahikwa-hkd.ed.jp/rokugo-jhs
発行日：11月27日（火）

「当たり前」のことを「当たり前」に

校長 工藤 亘

10月18日に「教育講演会」に参加してきました。主に学校関係者・保護者向けの講演内容でした。概略ですが紹介いたします。

①出来る実感を重ねて生活習慣を改める。

これは、心地よい生活リズムを刻むと学ぶ意欲は向上するという意味です。「私にもいいところがあるんだ」「あの時はよく最後までがんばれた」などの他者からの評価・体験が蓄積されると生活意欲が湧き、それが生きる力につながります。規制・強制から承認・理解の関係性にすることが大事です。そして、「さりげなく心遣いができる大人」「清潔で場に合った服装ができる大人」「主述がしっかりした言葉遣いができる大人」になるための基底を育てていきましょう。だからこそ、相手のことをまったく考えない言動に気付いたら、また、命を粗末に扱う場面に出会ったら、立ち止まって話をする大切な機会と認識してください。

②学校・家庭が同心円を描いて学習習慣を強化する。

これは、そろってやってみると、入り口が見えるという意味です。学力向上の取組や学習習慣の定着は学校だけでは、身に付けることはできません。学校は、社会に開かれた教育課程を発信し、共に育てる核心と役割を示すことです。家庭は、学校と共に取り組む時期・期間・評価の適切性を理解し主体的にかかわることです。低学年では「決めた時間に机に向かう」中学年では「やるべき内容が済むまで机に向かう」高学年では「決めた内容が終わるまで机に向かう」中学校では「自室での学習が出来る」このようにステップ・アップすることで、学習習慣が身に付いてきます。

③家庭・学校で本物の触れる機会を倍増する。

これは一流に出会えると自身との対話が増え、心が豊かになるという意味です。百回のまがい物より一度の本物に出会うことで、愛郷心が深まったり、自分が豊かになり、磨かれます。知ることとは知的財産を増やし、自分の発信力を高めます。

以上が講演内容です。講演の最後に「当たり前」のことを「当たり前」にすることについて語っていました。『「当たり前」のことは？』＝子どもの学びにとってマイナスにならないこと、『「当たり前」のことは誰がするの？』＝それぞれに、みんながそろってやってみること、『「当たり前」のことはいつまでするの？』＝当たり前が続くと、質が高い「当たり前」が生まれる、という内容です。日々の積み重ねが大事だということを再認識させられました。

本校でも「時を守り、場を整え、礼を正す」という言葉について生徒に話をしています。具体的には「時間を守ること、掃除をすること、挨拶・返事をする事」です。引き続き話をしながら、質の高さを求めていると思います。そして、時と場に応じた挨拶や言葉遣いができる生徒、心遣いができる生徒の育成を目指していきます。

教務部より

今月は、保護者の方との面談を行いました。
1・2年生の保護者の皆さんとの二者面談では、勉強の状況や高校進学についてなど、主に学習のを中心にして相談させていただきました。生徒とは10月に教育相談を行い、学習について事前に指導を行っていました。今回、保護者との相談を通して、より家庭との連携を深め、生徒たちの学力向上を図っていきたくと思っています。また、12月より数学を中心とした学習サポートを企画しています。数学の学び直しを行い、改善に努めていきます。

3年生は三者面談を行い、中学校卒業後の進路先について相談を行いました。いよいよ志望校が明確になり、気持ちを新たに頑張るときです。来月の12月5日（水）には、入試を想定した学力テストがあります。1月からはじまる高校入試に向けて、いよいよラストスパートです。

生徒指導部より

上記でも触れましたが、今月は二者面談と三者面談を行い、学習以外にも生活や友人関係についてなども相談をさせていただきました。悩みを抱えている生徒もいますが、一つ一つの悩みにしっかりと向き合っており、成長につながっています。学校としても、指導・支援をしながら、よりよい成長へと導いていきます。

学校生活は社会性を育成する場でもあります。社会性には2つの側面があると言われています。『自己形成』と『社会化』です。『自己形成』とは年齢相応に物事を理解し、自分で考え判断し行動できる力です。『社会化』とは自分の判断や行動をまわりに受け入れられるような形で表現できる力と言われています。その2つの側面とも学校生活を通して養っていく大切な要素ですので、今後も日々の学校生活を大切に指導していきます。

PTA教育講演会

11月5日（月）にPTA主催の生徒と保護者を対象とした教育講演会「落語にふれよう！」を開催しました。昨年度に引き続き、落語家 三遊亭とむさんにご講演いただきました。昨年度と違った現代落語の他に、古典落語も披露していただきました。また、今年も生徒が積極的に登壇し、三遊亭とむさんからご指導を受けて、落語を実演しました。



また、11月5日（月）19時より、旭川市PTA連合会北部ブロック講演会でも三遊亭とむさんにご講演いただきました。昼と違った落語も披露していただき、北ブロックの保護者の皆さんにも楽しんでいただきました。

技術科 出前授業

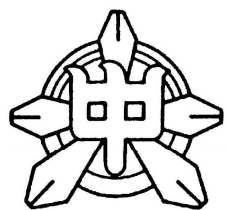
11月12・13日（月・火）で技術科担当の坂田教諭が春光小と末広小へ行き、教育大学の学生2名が補助として一緒に、小学6年生へのこぎり体験指導を行いました。



12月の行事予定

- 4日（火）2年生保健指導
- 5日（水）3年学力テスト（入試模試）
1・2年生学習サポート
- 7日（金）参観日
中連生活12月研修
- 11日（火）常任委員会
- 12日（水）1・2年生学習サポート
- 17日（月）大掃除習慣（～20日）
- 18日（水）1・2年生学習サポート
- 21日（金）表彰伝達式、終業式、成績相談
- 22日（土）冬季休業日（～1/15）





【学校教育目標】
輝かしい未来を築く 創造性豊かな生徒の育成を目指して
高い知性 豊かな心 強い意志 たくましい体力
【行動の合言葉】
元気にあいさつ 進んで活動 みんなと協力
【年度の重点目標】(重点目標具現化のための取組 “3つのビジョン, 10のミッション, 20のアクション”)
『自ら感じ、考え、主体的に行動する生徒の育成』



1 主体的な学びを通して、確かな学力を育む (1)教育課程 ①地域の特性を生かした特色ある教育課程（社会に開かれた教育課程） (2)学習指導 ②今日的な教育課題に対応する教育課程 ③主体的な学びを促し、基礎・基本の確実な定着を図る学習指導 (3)総合的な学習の時間 ④一人ひとりのよさ・可能性を伸ばす学習指導 ⑤自ら課題を見つけ、その解決や探求に主体的に取り組む活動 (4)特別支援教育 ⑥地域の教育資源を有効活用した特色ある活動 ⑦一人ひとりの特性を生かし、適切な対応・指導に努める特別支援教育 ⑧家庭や関係機関との連携を深め、協働体制で取り組む特別支援教育	2 生命を尊重し、思いやりの心や自律心を培う。 (5)心の教育 ⑨豊かな心を育てる道徳教育 ⑩心に響く指導、生きた指導、考えさせる指導で進める道徳教育 (6)特別活動 ⑪自主性や創造性を育て、共に生きる喜び・よさを学ばせる特別活動 ⑫魅力があり、活力があり、個が輝く特別活動 (7)生徒指導 ⑬自らを律する心を培い、「よりよく生きる力」を育む生徒指導 ⑭共感的理解に努め、組織的に取り組む生徒指導 (8)キャリア教育 ⑮自らの能力や適性をとらえ、将来の生き方や夢に向かうキャリア教育 ⑯社会の一員としての望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育	3 粘り強く、たくましい心身を育む。 (9)健康・安全教育 ⑰自他の生命を尊重し、生活の安心・安全意識を高める安全教育 ⑱食育や運動の生活化等を通して健康の保持増進・体力の向上を図る健康教育 (10)食育 ⑲食に関する学習や食体験を通じて、食事の自己管理能力を養う食育 ⑳食をめぐる環境を理解し、食に感謝する心を育てる食育
--	--	---

いじめ根絶集会

10月31日（水）に、六合中学校の伝統行事でもある『いじめ根絶集会』が、生活常任委員会の準備・運営のもと実施されました。昭和61年（1986年）にいじめ根絶宣言「いじめない・いじめさせない・いじめられない」を合い言葉に生徒全員が“いじめ根絶”に取り組んできました。今年度も作文やポスター、標語に

【作文の部】

【ポスターの部】3年1組 前田 柚奈

【標語の部】

3年3組 武田 唯花

『言葉』

3年1組 額村 公子

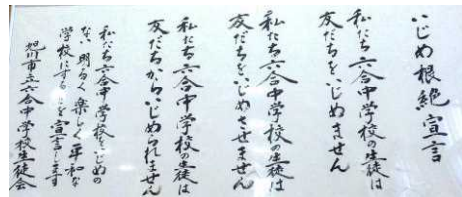
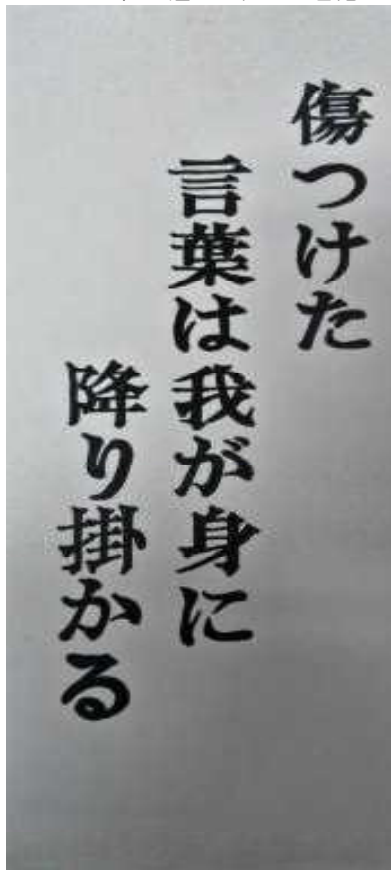
私はニュースで、いじめが原因で命を落とした人がいると聞いたことがあります。言いかえれば、場合によっては、いじめは人の命を奪ってしまう行為だということです。しかも、その大半は私達にとって最も身近な学校で起きています。つまり、いじめは私達の身近で起こる可能性が高いものだということです。その可能性をなくすために、私は次のことが必要だと考えました。

人間は自由に言葉を選択することができます。相手が傷つく言葉か、それとも喜ばせる言葉、か。そのどちらも選ぶことができますが、私は、進んで後者を選択できる人が、いじめをなくすために大切な人だと思います。日常に溢れている言葉の数々。その中から一つ一つを選択していくことは難しいです。そう思う人が大半でしょう。しかし、一つの言葉の選択が、相手の幸せを作り、いじめという「悪」を遠ざけることもできるのです。そう考えると、適切な言葉を選択する重要性が見えてきます。

また、言葉の選択に失敗してしまった時、具体的に言えば、自分の言葉で相手を傷付けてしまう時が、きっとこれからたくさんあると思うけれど、そんな時、素直に「ごめんね」が言えたら、相手を傷付けた自分から、相手を笑顔にする自分へと、変わることができます。失敗はチャンスに変えられることを忘れてはいけません。

いじめ。それは人の命を奪ってしまうこともあるもの。身近で起こりうるいじめをなくすための「言葉の選択」。みんなが上手に選択することで、いじめのない学校が作れると思います。この世にはありとあらゆる言葉があふれています。すてきな言葉、不愉快に感じる言葉…。様々だけれど、それは全て人間の言葉の選択にかかっています。あなたは相手にどのような言葉をかけたいと思いますか。それを聞いた相手は、どんな表情を見せるでしょうか。お互いがお互いを思いやった言葉を交わせること。これ以上の幸せはないはずです。良くも悪くも、自分が自由に選択できてしまうのが言葉。言葉を使うことへの責任感。それを、もっと一人一人が持つべきだと私は思います。

あなたが選択した、あなただけの特別な言葉を、相手にかけてあげてください。そうすれば、きっと素敵なものがあなたに返ってくるはずです。



防災教育を行いました

11月1日（木）に、「311から学ぶ会カタルワ 鈴木 哉美氏に来校いただき講演と実演を行いました。鈴木さん家族は、福島で被災され、現在は東川町に在住しています。東日本大震災から学ぶことを目的に講演活動を行っている方です。震災に関するDVDの視聴や避難時に身のまわりの物を利用して暖をとる方法など、ご指導いただきました。



ふれあいコンサート

11月3日（土）に、六合中学校を会場に、『六合中・啓北中学校区ふれあいコンサート』を行いました。春光小スクールバンド、北鎮小吹奏楽クラブ、啓北中吹奏楽部、六合中吹奏楽部の他に、北高吹奏楽部、実業高校太鼓部、一般の方で構成しているフルートアンサンブル・フルール、陸上自衛隊第2音楽隊の8団体が出演して行われました。地域の皆様をはじめ、多くの方々に来校いただき、大盛況で終わりました。

